

令和 6 年 9 月 1 1 日
学校法人北海学園北海学園大学
学校法人北海学園北海商科大学
札幌市

北海学園大学、北海商科大学、札幌市は包括連携協定を締結します

北海学園大学（学長：森下宏美）、北海商科大学（学長：堂徳将人）、札幌市（市長：秋元克広）は、それぞれが有する資源を持ち寄り、協働してまちづくりに取り組むことにより、地域課題の解決に寄与していくことを目的として、包括連携協定を結ぶことで合意いたしました。知の拠点である両大学と札幌市が連携し、下記の事項について取り組み、地域における知と人材の循環を創出してまいります。

本協定の締結式を執り行いますので、報道機関の皆さまにおかれましては、ぜひともご取材いただきますようお願いいたします。

【連携内容等】

- (1) 人口減少下における政策立案に関する事項
- (2) 人材の育成及び地元定着に関する事項
- (3) その他、協議により必要と認められる事項

【包括連携協定締結式について】

- (1) 日時 令和 6 年 9 月 18 日(水) 10 時 10 分から 10 時 40 分まで
- (2) 会場 札幌市役所 10 階市長会議室（中央区北 1 条西 2 丁目）
- (3) 出席者 北海学園大学 学長 森下 宏美
北海商科大学 学長 堂徳 将人
札幌市 市長 秋元 克広

(4) スケジュール

- 10:10 開会、出席者紹介、協定に関する概要説明
- 10:14 協定書取り交わし・写真撮影
- 10:20 秋元市長、森下学長、堂徳学長 挨拶
- 10:30 閉会（※閉会后、事務レベルでの質疑応答）
- 10:40 終了

(5) 取材の申込方法

取材を希望される場合は、9 月 17 日（火）正午までに、問合せ先に記載する札幌市の担当者までご連絡ください。

【北海学園大学について】

学校法人北海学園はその起源である北海英語学校から 139 年の歴史をもつ。その創立の功労者である浅羽靖は明治 19 年に札幌区長（現札幌市長）に就任し、明治 20 年には本校の校長を務めた。そして北海道開発の担い手を輩出することをミッションとしてきた。

昭和 27 年に道内初の私立大学として開学した北海学園大学も、そのミッションを引き

継いでいる。今日では、少子高齢・人口減少に関わる地域課題が山積しており、その解決に向けた対応が求められている。本学は、北海道の「知」の拠点としての役割を果たすために、地域との連携を通じた教育研究に力を入れつつ、北海道の発展に資する人材供給を担っていく。

【北海商科大学について】

学校法人北海学園の歴史を背景に、地域に根ざした「開拓者精神の涵養」を継承する北海商科大学は、現代社会の急速なグローバル化に対応して、「アジアの時代にアジアを学ぶ」を教育目標に掲げ、躍進するアジアを念頭に教育研究に邁進してきた。特に、ビジネスや観光、環境をテーマとした実践的な資質・能力を育み、北海道の拠点であり人口ダム機能が期待される札幌市における政策立案や地元定着人材の育成に取り組む。

【問合せ先】

(北海学園大学)

開発研究所 担当：川田

TEL：011-841-1161（代表）

(北海商科大学)

担当：浜田

TEL：011-876-0153 FAX：011-824-0801

(札幌市)

まちづくり政策局政策企画部公民・広域連携推進室 担当：紺野、猪瀬

TEL：011-211-2281 FAX：011-218-5109